

杉並区立成田西ふれあい農業公園

杉並区で初めての農業公園として、平成28年4月に開園した「成田西ふれあい農業公園」。この公園の特色についてご紹介します。

気軽に土とふれあい、農を「見る」「ふれる」「楽しむ」ことができる公園です

園内には畑があり、四季折々30種類近くの野菜を栽培しています。普段区内ではあまり目にすることのできない野菜が育つ様子を、通路から間近にご覧いただけます。

また、興味はあっても、土にふれる機会がない、やり方がわからない。そんな方のために、収穫体験や土づくりから収穫までを学べる講座なども行っています。子ども向けの講座などもあり、さまざまな世代にご参加いただけます。



▲いつでもご自由にご散策いただけます。(開園時間内)



▲農業公園で採れた野菜(5月下旬)



▲ジャガイモの花が終わり葉が黄色になったら収穫します。



▲子どものための農業体験教室
～収穫した野菜を使ったカレーライス作り～



▲農にふれあう講座



▲収穫体験

◇講座・イベント

成田西ふれあい農業公園で開催している講座、イベントについては、広報紙、区・農業公園ホームページで随時お知らせしています。(一部有料)

- ・収穫体験(年10回程度開催)
- ・農にふれあう講座(全20回)
- ・子どものための農業体験教室(前期・後期各8回)
- ・収穫祭、麦の脱穀、麦踏み、麦刈り、うどん打ちほか

杉並らしい農のある風景を演出します

農業公園では、都市における農の魅力や大切さを、イベント等を通じて広く伝えていきます。また、伝統野菜の栽培などにも取り組んでいます。

これからも、農を通じて多くの方が交流できる場を提供していきます。

皆さん是非、一度農業公園へ遊びにお越しください。



成田西ふれあい農業公園利用案内

開園時間／9時～17時

休園日／年末年始(12月29日～1月3日)

場 所／成田西3-18-9

電 話／5347-2115

※駐車場はありません。

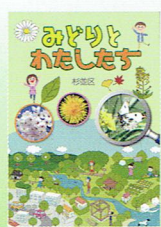
<http://www.naritanishi-agripark.com>



▲農業公園全景

◆交通案内

- JR中央線荻窪駅南口より
関東バス(荻窪南口⇄五日市街道営業所間、荻53)で「高井戸境」下車徒歩1分
- JR中央線吉祥寺駅北口または中野駅北口より
関東バス(中野⇄吉祥寺駅北口間、中36で「高井戸境」下車徒歩1分)
- 京王井の頭線高井戸駅より
関東バス「北野⇄荻窪駅南口間」、荻54・荻58で「柳窪」下車徒歩5分



緑化副読本「みどりとわたしたち」ができました

「みどりとわたしたち」は、身近なみどりの役割や暮らしとの関わりについて紹介している小学生向けの緑化副読本です。

このたび、5年に1度の改訂版が作成されました。区内全域の小学5年生を対象に、学校から配布されます。また、区役所2階の区政資料室で1冊200円で販売しています。

問い合わせは、みどり公園課へ。

新しい公園が開園しました



この春、区内に3公園が開園しました。お近くの方は、是非、足を運んでください。

下高井戸なごみ公園 3月31日開園

(下高井戸4-19-26)

【公園概要】面積：約1137㎡

主な施設：あずまや、複合遊具、ブランコ、健康遊具ほか

公園ができる前は、下高井戸保育園等の仮園舎として使用された土地でした。

この付近は、比較的公園が少ない地域であり、周辺の保育園等の子供たちはもちろん、さまざまな世代が集えるような公園となるように整備を行いました。



馬橋ほんむら公園 3月28日開園

(高円寺南3-16-12)

【公園概要】面積：約615㎡

主な施設：あずまや、かまどベンチ、ミストポール、ソーラー照明灯ほか

地元からの意見を踏まえて「防災機能を備えた広場のある公園」をコンセプトに整備されました。あずまや、かまどベンチ、ソーラー照明灯など災害時にも役立つ施設があります。



▲霧状の水が出て、水遊びができる「ミストポール」があります。



高井戸東ひだまり緑地

2月15日開園 (高井戸東4-27-4)

【公園概要】

面積：約164㎡

主な施設：水飲み、ベンチ

隣のサービス付き高齢者向け住宅の建設と同時に整備された公園です。



みどりのイベント2019開催



みどりのイベントは、身近にあるみどりに親しみ、みどりと遊び、みどりについて考えようというイベントです。毎年、柏の宮公園を会場に行われています。

5月18日(土)に開催された今年は、区内のボランティア団体やすぎなみ造園有志の会などの協力のもと、楽しい企画やイベントで、大勢の方でにぎわいました。



▲剪定した木の枝を利用して、木の輪切りのストラップを作りました。



▲毎年大好評のツリークライミング



▲竹細工作り～花器、鉛筆立てなど

みどりの相談所の先生に聞く

園芸ワンポイント

指導：南澤乙亥先生

みどりに関する相談は
塚山公園 みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12

毎週日曜日午前9時～正午、午後1時～4時30分

休所日：8・12・1月



家庭でできる 腐葉土の作り方

腐葉土とは：枯れて役目を終えた木の葉や枝が地表に落ち、時の経過とともにミミズや微生物等などによって分解されて、土状になったものをいいます。

1 腐葉の効果

完熟した腐葉土は、土と土の間に隙間をつくり、空気や水の通りをよくして、微生物の活動を盛んにします。完熟すると葉肉がもろく崩れやすくなり、握ると弾力があります。

2 腐葉土を作るのに適した落ち葉

公園、街路樹等のケヤキ、クヌギ、コナラ等の落葉広葉樹の落ち葉を利用します。常緑広葉樹（シイ、カシ類）の肉厚のものも、出来上がりに時間がかかりますが良い材料です。樹脂分が多く腐りにくいイチョウや針葉樹の葉は避けた方がよいです。

3 腐葉土づくり

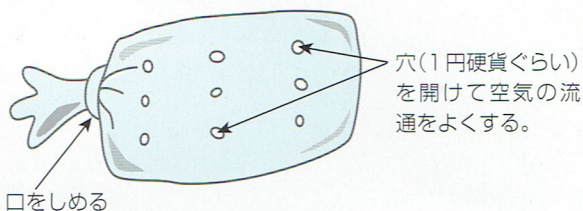
家庭でできる一例を紹介します。

用意するもの／落ち葉、厚いビニール袋、米ヌカ、油粕など

- ①厚いビニール袋（90ℓぐらいのゴミ袋を二重にする等）に小さな穴を開けます（右上図）。
- ②湿らせた落ち葉に米ヌカ、油粕などをふりかけて混ぜ合わせ、ビニール袋につめ込み口をしめます。
- ③発酵が始まると熱が出て腐熟が進みます。全体の湿り具合を見て乾き気味だったら水分を補い湿らせます。

- ④1か月程度すると発熱してくるので熱がおさまった頃、よくかき混ぜます。これを2～3回繰り返して、空気や水分を補い、腐植の進み具合が均一になるようにコントロールします。
- ⑤発酵がおさまったら腐葉土の出来上がりです。

厚いビニール袋（90ℓのゴミ袋を二重に等）を利用する方法

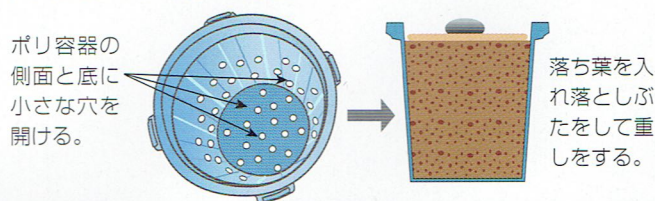


※雨に当たらない所に置きます。

※市販の発酵促進剤や完熟した腐葉土を混ぜると、発酵までの期間が早まります。

※葉の種類や量、環境等によって、完成までの期間は異なります。（冬で3～5ヵ月、夏で2～3ヵ月）

ポリ容器に穴を開ける方法



家庭でできるこんなワンポイント

みどりとひとの編集ボランティアが実践している方法をご紹介します。

「野菜の皮や卵の殻を乾燥させ、鷹の爪を細かくしたものと合わせて土に混ぜて、花を育てています。家で育てているペゴニアの花がいつもより長く咲きました」。腐葉土づくりと合わせて試してみたいはいかがでしょうか。



編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- 道端の隅っこで、小さいながらも可憐な野草が、踏まれてもなお懸命に生きている姿が目。私もまだまだがんばらなくては。(羽)
- バラを美しく育てるのは、目に見えぬ大変な隠れた努力が必要ですね！色々なバラのお庭を楽しんでいます。(原)
- 愛と美と情熱！トゲがあっても、惹かれる芳醇・芳香のバラ(石)
- JR国立駅前の大学通りのさくら並木がこの春素晴らしかったです。来春はぜひ桜見物にお出掛けを。(水)
- 時々行くセンターで、私が前々号書いた本誌を読みたいとの事で持参。多忙な中数人で点訳しプリントしたものを送付してくれ、嬉しくて大事に思うも、区役所に預けて活かしてもらった。次号から愛読?してくれて、みどりの輪が広がった。(小)
- 濃くなる木々のみどりの。一口にみどりとといっても様々な色のみどりがああるので、色名ガイドによれば、草色・苔色・深緑など緑系がなんと46種もありびっくりしています。(山)



みどりの新聞 みどりとひと172号 令和元年7月20日発行

編集／みどりのボランティア
編集・発行／杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

